

平成30年度学力向上タイムについて

1 目的

生徒の学力向上（基礎・基本の定着，思考力・判断力・表現力の育成・学習意欲の向上）を図る取組を工夫することにより，中学校生活を充実させ，また，中学校卒業後の進路選択の幅を広げさせることを目的とする。

2 具体的な取組案

（1）朝学習および教科授業内での補充指導

- ・ 毎月第2土曜日の8時20分から8時30分に，国語・社会・数学・理科・英語の5教科について実施する。
- ・ 全10回を5教科でローテーションし，各学年それぞれの教科を2回ずつ実施する。
- ・ 朝学習で取り組んだ教科をその日の時間割に必ず入れる。ただし，朝学習で取り組んだ内容を授業の中で取り扱うかどうかは，各教科担任の判断に任せる。

回	月／日	曜日	1年生	2年生	3年生
1	4／14	土	理科	英語	国語
2	5／12	土	国語	社会	数学
3	6／9	土	社会	数学	理科
4	7／14	土	英語	国語	社会
5	9／14	金	数学	理科	英語
6	10／13	土	国語	社会	数学
7	11／10	土	理科	英語	国語
8	12／8	土	社会	数学	理科
9	1／12	土	英語	国語	社会
10	2／9	土	数学	理科	英語

（2）教科授業（5教科）における学力向上対策

- ・ 1月実施予定の鹿児島学習定着度調査に向けて，12月中の1週間で国語・社会・数学・理科・英語の5教科について対策を講じ，生徒へ学習指導を行う。
- ・ 創意でカウントし，教科担任が1時間の授業を行う。

（3）授業相互参観（9教科）

- ・ 1年間（5・6・7・10・11・12月）で，各教科担任の授業を1回ずつ参観する。ただし，複数教科の担当者に対しては，一つの教科でよい。
- ・ 事前に相互で参観の確認をしておく。
- ・ 授業参観シートに感想や意見等を記載し，学力向上対策委員会等を通じ，相互の資質の向上を図る。学力向上対策委員会は，5・8・12・3月に実施予定。
- ・ 指導案等の準備はしない。